

本資料は、2月21日(土)開催のプレイベントガイダンスにてお渡しした資料と同一のものです。

2026年3月吉日

国際コミュニケーション学科
ご入学予定の皆様
保証人の皆様

四天王寺大学
文学部
国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科「海外体験実践演習」について

文学部国際コミュニケーション学科では、1年次生全員を対象として、インドネシア、フィリピン、ベトナムの現地教育機関での2～3週間の海外研修を実施します。1年次における異文化研修は、多様な価値観に触れ、それを学び、世界について考える貴重な機会となります。さらに、本研修で得た気づきは、自身の将来の姿を描き、それを今後の学修計画につなげるうえで、重要な基盤となります。

以下、今後のスケジュールや、必要となる準備等についてご案内します。本プログラムに参加を希望される方は、これらを参考に準備を行ってください。

1. スケジュール

時期	内容	詳細
4月2日(木) 13:00～	募集説明会・保証人説明会	入学式当日に実施します。
4月16日(木)	渡航先希望調査	授業科目「大学基礎演習Ⅰ」において、プログラム参加申込書を提出してください。
4月23日(木)	募集締切	本学グローバル教育センターに必要書類・パスポートの写しを提出してください。 ※これ以降、渡航先の変更はできません。
5月下旬	渡航先の決定通知	渡航先が確定します。 これ以降、キャンセル費用が発生します。
5月下旬	初回オリエンテーション	参加必須
7月初旬	危機管理セミナー1回目	参加必須
7月中旬	2回目オリエンテーション	参加必須
8月初旬	渡航前オリエンテーション・ 危機管理セミナー(2回目)	参加必須 ※インドネシア渡航者対象
8月下旬	研修出発(インドネシア)	研修期間:2週間
10月中旬	渡航前オリエンテーション・ 危機管理セミナー(2回目)	参加必須 ※フィリピン・ベトナム渡航者対象
11月	研修出発(フィリピン・ベトナム)	研修期間:フィリピン3週間、ベトナム2週間

※スケジュールは変更となる可能性があります。また、上記記載のオリエンテーション以外に「事前指導」を複数回実施します。詳しくは4月2日(木)の募集説明会時にお伝えします。

2. 費用のお支払いについて

本プログラムでは、研修へ参加する1年次生全員に「国際コミュニケーション学科海外研修奨学金」として、現地教育機関の授業料及び宿泊費相当額が給付されます。

プログラム費用は本学から支給される奨学金を差し引いた全額をプログラム開始前にお支払いいただきます。費用のお支払いの時期は、募集説明会でご案内します。(1回目:申込金、2回目:残金支払い、を予定)

複数回実施する事前・事後指導に全て参加し、プログラムを修了された場合、本奨学金の返済は不要です。ただし、自己都合でプログラム参加を中止、中断された場合などには、奨学金の返還を求めることがあります。

3. パスポートの取得について【入学前の手続きを推奨】

通常、パスポートは申請から発行までに最短でも3週間程度を要し、かつ申請者本人が受け取る必要がありますので、本学入学までに取得しておくことを強く推奨します。4月23日(木)までにパスポートのコピーが提出されない場合は、航空券の手配ができないため本プログラムに参加することができません。

本プログラムの参加申込にあたっては、有効期限が2027年6月末以降(※)のパスポートが必要です。すでにパスポートを取得されている方は、必ず有効期限を確認し、残存期間が以下に満たない場合は事前に切替申請を行ってください。

【インドネシア・ベトナムの場合】入国日から数えて6ヵ月以上

【フィリピンの場合】入国日から数えて6ヵ月以上+滞在日数

パスポートの新規・切替は、市町村の窓口または都道府県のパスポートセンターにて申請してください。

パスポート申請に関する質問等は、お住まいの自治体へお問い合わせください。また、パスポートの申請費用は、参加者をご負担ください。(申請費用は奨学金の対象ではありません。)

4. 海外旅行保険について

本プログラムの参加にあたって、大学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。海外旅行保険料は、プログラム費用の一部に含まれています。緊急時には旅行会社と保険会社が連携し、皆さんをサポートします。

5. 現地でのサポートについて

各渡航先につき学科教員2名が出国から帰国まで同行し、皆さんをサポートします。また、現地での研修中に発生した病気・怪我等のトラブル時の連絡先窓口として、24時間日本語対応のサポートデスクを設けています。サポートデスクで得られた情報は、保険会社、旅行会社、本学で共有され、素早く手厚いサポートにつながります。

6. 事前指導について

本プログラムの実施にあたって、学科及びグローバル教育センターが複数回事前指導を行います。事前指導では、現地で安全に過ごすための危機管理セミナーも実施されます。

7. プログラムの運営について

本プログラムの運営にあたっては、旅行会社と協働して、航空券手配、海外旅行保険手配、緊急時の対応の他、研修費用の集金・管理を行っています。そのため、参加者の皆さまや保証人の方へ旅行会社から連絡が入る場合があります。詳細は入学後にお伝えします。(入学前に旅行会社から連絡が来ることはありませんのでお気をつけください。)

8. 連絡について

大学や関係機関(旅行会社、現地教育機関)からのプログラムに関する連絡は、入学後に付与される大学のメールアドレスへお送りします。毎日必ずメールを確認してください。Gmailのシステムを利用していますので、スマートフォンのアプリ(Gmailアプリや標準メールアプリ)で確認することができます。メールへのアクセス方法は、入学後のオリエンテーション期間中に実施する「ネットガイダンス」にて説明されます。

9. 単位について

参加者の皆さまは、国際コミュニケーション学科専門教育科目「海外体験実践演習」を各自で履修登録する必要はありません。本プログラムへの参加が確定した後で、「海外体験実践演習」(2単位)が自動登録されます。

通常、科目の履修にあたっては、履修登録期間に履修登録を行いますが、「海外体験実践演習」については、参加確定後に大学側で履修登録を行います。

10. お問い合わせについて

本プログラムに関するお問い合わせについては、以下にメールまたは電話にてご連絡ください。

【お問い合わせ先】

四天王寺大学 グローバル教育センター

メール:icce@shitennoji.ac.jp 電話:072-956-9934

開室時間:月曜日～金曜日 9時～17時30分